

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

2012年4月号

発行編集人

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

発行所

日本クリスチャン・アカデミー
京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
075 (711) 2115

第533号

福島原発から遠く離れた田んぼのミミズから、高い放射能が検出されたという。山間で静かに暮らしていたミミズにまで、こんな危害を与えてしまつて申し訳ないと思う。私は、ガラス工芸を研究領域としている。ガラスは、高レベル放射性廃棄物を閉じ込めるためにも用いられる。私は約40年前教授から、これを研究テーマとするように勧められた。しかし私は、ガラスにより放射性元素を10万年以上も隔離することは不可能であると思ひ、これを研究テーマに選ぶことはしなかった。そうすれば、生命に致命的なダメージを与える放射性元素を作り続けることに、いくらでもブレキをかけることができるかと思つた。しかし、原子力発電所はその後増え続け、高レベル放射性廃棄物は処理不能なまま貯まり続け、今回の基大な危害を与えることになった。ミミズを先頭とするあらゆる生物から、そんなに危険なものを知つていたのに、なぜのんきに原子力発電に依存し続けてきたのかと問われる思いである。

一方、日本クリスチャン・アカデミーは、キリスト教精神に基き、立場の相違を越えたはなしあいに、平和と正義の重んじられる社会の実現を目指そうとしてきた。原子力発電こそ、意見が鋭く対立し、立場の相違を越えたはなしあいに、あるべき方向を探るべき重要課題でなかったか。しかし私達は、こ



被造物のうめきと私達の責任

関西セミナーハウス活動センター

運営委員長 小久保 正

る。同報告書は、この安全神話が維持され、一般国民の無関心が続く限り、このような過酷事故が再び起こり得ると警告している。

私達は聖書を通し、イスラエルの預言者が「自己を絶対化し、神の位置に置く者は、悲惨な破滅を招く」と繰り返し警告するのを聞いてきた。誰も真理の全部を見ることは許されていない。われわれの知るところは、いつも真理の一部でしかない。謙虚にある

べき方向を模索することが求められている。聖書はまた、神は私達がこの地の上ですべての被造物をいたわり、共に生きていることを求めていると告げている。この呼びかけに、私達の責任を果たすために、原子力発電とエネルギー問題のあるべき方向を根源的に探る、真摯で自由なはなしあいを始めたいと思う。こうした地道な対話と折りの歩みは、歴史を動かした例を私達はすでに知っている。東西ドイツの統一も、アパルトヘイトの廃止も、そして最近のドイツにおける脱原発の選択もこうした歩みから始まった。

その第一歩として、10月7日(日)―8日(月、祝日)、関西セミナーハウスに、福島原発事故独立検証委員会が委員長を務めた北澤宏一氏と、キリスト教の立場から原発問題に長く係つてきた関西学院大学教授の栗林輝夫氏を招き、1泊2日の時間をかけてこの問題をじっくり考え、話し合う会を企画した。多くの方がこのはなしあいの輪に加わり、この問題を共に担つて下さることを願っている。

(中)大学教授、京都大学名誉教授

プログラム案内

◆関東活動センター

■日本クリスチャン・アカデミー聖書講座

「旧約聖書と新約聖書―聖書」とはなにか

講師：上村 静さん(東京大学非常勤講師)

日時：2012年6月～12月の土曜日・原則月1回 全5回 14:00～16:00

①6月2日(土)②7月7日(土)③9月29日(土)④10月27日(土)⑤12月1日(土)

会場：日本キリスト教会館6階会議室

参加費：1,200円(賛助会員1,000円/学生500円)

テキスト：『旧約聖書と新約聖書』(2011年刊・新教出版社)

◆関西セミナーハウス活動センター ■お茶のこころと宗教のこころ

2012年度第1回「関西セミナーハウスの茶室清心庵」

講演：「山上の垂訓と清心庵」

講師：市川 克彦(裏千家正教授、紫苑国際文化院院長)

日時：2012年4月9日(月)13:30～17:00

参加費：2,000円(抹茶含む)

■2012年度修学院フォーラム

「高齢を生きる一認知症・胃ろう・尊厳死を見据えて」

第1回「高齢者の終末期医療とケアを考える」

講師：葛原 茂樹(鈴鹿医療科学大学教授)

日時：2012年5月12日(土)13:30～17:30

参加費：2,000円、学生500円

■神学生交流会

2012年度第1回「イスラームとの対話から」

講師：小原 克博(同志社大学神学部教授)

日時：2012年5月19日(土)13:30～17:00

参加費：500円

東 西 南 北

森口 明洋

関西セミナーハウス職員(フロント)、3月1日付で着任しました。

薛 恩峰

関東活動センター所長、3月31日付で退任しました。

横野 朝彦

関東活動センター所長代行に4月1日付で就任しました。

飯田 義雄 本部事務局長

4月5日、逝去されました。これまでの献身的なお働きに感謝し、ここに哀悼の意を表します。

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>
 関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>
 関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>
 関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー
理事長 シュベネマン クラウス

本部事務局

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
TEL 075-711-2147
FAX 075-701-5256

関東活動センター

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
日本キリスト教会館1F
TEL 03-3207-6198
FAX 03-3207-2478

E-mail: info@academy-tokyo.com

関西セミナーハウス /

関西セミナーハウス活動センター

〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23
FAX 075-701-5256

関西セミナーハウス

TEL 075-711-2115

E-mail: info@academy-kansai.com

関西セミナーハウス活動センター

TEL 075-711-2117

E-mail: office@academy-kansai.org

賛助会費・後援会費・寄付金報告

2012年2月1日～2012年2月29日
(順不同・敬称略)

◆関東活動センター

賛助会費
在日本韓国YMCA 10,000

第3回神学生交流プログラム

柳井 繁彌 4,000
上林 順一郎 30,000
西川 喜久子 5,000長谷川 義紘 10,000
岸田 晃子 6,000
竹中 百合子 10,000
松田 光代 5,000
酒井 哲雄 3,000
谷口 善志郎 3,000寄付金
松下 美江 1,450
千賀 不二 5,000
鈴木 和哉 10,000

◆関西セミナーハウス活動センター

賛助会費
酒井 凉子 5,000
塚本 誠一 10,000
鈴木 和哉 5,000

◆関西セミナーハウス

寄付金
エーザイ(株) 200,000
以上、感謝をもってご報告申し上げます。

3月16日

関西セミナーハウス リニューアルオープン

南棟2階ゲストルームは、デラックスツインルームに
ゆったりベッドと壁掛けTVを完備1階フロント、ロビー、お土産物コーナー、大会議室、
ラウンダーホール、2階食堂も新しくなりました。
ぜひ、ご利用ください。京都市左京区一乗寺竹ノ内町 23 TEL 075-711-2115
URL: <http://www.kansai-seminarhouse.com/> (予約できます)



今回はトランスジェンダーなどセクシュアルマイノリティといわれる当事者の視点から、自分と社会を見直すことをねらいにセミナーを開きました。

第1セッションは、参加者

がテーマと自分との関わりを語り、土肥さんのトランスジェンダーとしてのライフストーリーに耳を傾けました。自分の身体的な性とのズレを感じたとき、心の中に箱を置き、そこにしまひおくことで日常を生きていたこと。同僚のすすめで読んだ1冊の本がきっかけで自分に気づいたこと。また、基本的な理解として、セクシュアリティは幾通りもの組み合わせでできていることなど。



講師は、「人間の自己形成と教育の関係を考えてみる」と必要ではないか」との問いかけから、アジア・太平洋戦争後の教育の流れを辿った。

教育基本法を制定するための教育刷新委員会、委員の務台理作は、「人格の完成」のような倫理的な言葉ではなく、個人の自由を尊重する精神が教育の基礎となり、近代的な個人という意識が確立しなければ、今すぐにでも反動化する、と警鐘を鳴らした。しかし、この議論は多くの人々に理解されなかった、と語られた。

また、精神医学を学び、病気で傷つく人々を治療しながら、気づかされたこととして、人間は自分の中に経験を積んだ価値観とか自己像を引きずりながら生きている。それは文化が形成したものである。そこから、文化が違えば人は、どのような悩みを持つのか、苦しみ方をするのかわり研究をするようになった、と語られた。

●2011年度開発教育セミナー 第5回 「ありのままのわたしをいきる」ために ～多様な性と生～

2011年10月29日(土) 13:30(日)
会場：東京大学東洋文化研究所 2F
講師：土肥 いつきさん

魂のいのちを語る点を強調する。とくに罪の赦しについては心の奥の秘められた所、人が罪を隠し持つ場所において赦しの神との出会いが成立し、そこで出会われる愛に満ちた赦しの神との関係において魂のいのちが自覚されると解釈する。

今日の世界に広がる観念、クルアーンでは民主主義、言論の自由、例えば「自由」は宗教に強制があつてはならない、また「あなたがたのために、地上の凡てのもの創られた方であり」、「あなたがたに禁じられるものを、明示されたではないか。だが、止む

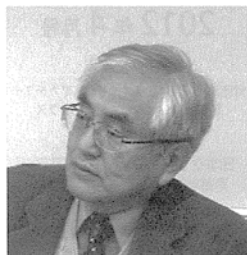
●2011年度修学院フォーラム「人と教育」第3回 「知の塵芥のなかで、自分をつくる」

2011年11月12日(土)
関西学院大学教授 野田 正彰さん

講師は、「人間の自己形成と教育の関係を考えてみる」と必要ではないか」との問いかけから、アジア・太平洋戦争後の教育の流れを辿った。

教育基本法を制定するための教育刷新委員会、委員の務台理作は、「人格の完成」のような倫理的な言葉ではなく、個人の自由を尊重する精神が教育の基礎となり、近代的な個人という意識が確立しなければ、今すぐにでも反動化する、と警鐘を鳴らした。しかし、この議論は多くの人々に理解されなかった、と語られた。

また、精神医学を学び、病気で傷つく人々を治療しながら、気づかされたこととして、人間は自分の中に経験を積んだ価値観とか自己像を引きずりながら生きている。それは文化が形成したものである。そこから、文化が違えば人は、どのような悩みを持つのか、苦しみ方をするのかわり研究をするようになった、と語られた。



2010年暮れにユニジュアではじまった「アラブの春」は、エジプトを例にとればムバラク長期政権への民衆、諸革命勢力の反抗で、過去の植民地支配、独裁政権、宗教宗派、もちろんイスラームの存在としても捉えられよう。イスラームはアッラーを唯一神とし、神の意志に従って生きることをクルアーン(コー

ラン)は啓典であり、神自身言葉、生き方の指針の集成、ムハンマド(577-632年?)は神の使徒である。イスラームの特徴は「全人間の宗教」であると同時に、法と倫理(戒律)、さらに歴史を経て法の解釈、共同体の合意、類推的な推論もすすんでいく。いくつかの派が存在する所以である。



を得ない場合は別である」とも言われる。婚姻、食物禁忌、飲酒禁止、他の宗教などについても学び、対話のきっかけとなり得るように思えた。感想ではキリスト教列強の責任、キリスト教とイスラーム、イスラームと社会的、政治的な緊張などへの質問、さらに時間が欲しいとの声もあり。同時に鎌田さんのイスラームへの思索と、その深遠に触れることが出来たとも。出席34名



今日の社会において問題となる「いのち」について、キリスト教の視点から考えを深める必要は多くのクリスチャンが感じるところである。今回の「はなしあい」はその礎石のひとつとなる内容となった。

関根先生のお話しの内容は、いのちを主題として従来のキリスト教倫理の脱構築をはかり、一般倫理の次元から見ても説得的なキリスト教倫理の可能性を提示するものであった。

●2011年度修学院フォーラム「いのちを考える」 第3回 「いのちについてーキリスト教倫理と一般倫理のはざまからー」

2011年11月5日(土)
東京大学大学院人文社会系研究科・文学部教授 関根 清三さん

まず旧約の人間創造論について従来の霊肉一元論的解釈を退け、あくまでも肉体としての人間の創造を語るものとして解釈し、肉体的いのちが神によって創造された点を強調する。ここから殺人は神によるいのちの贈与を否定するものとして禁ずるのがキリスト教倫理となるが、純粋な贈与においては贈与者が「隠れている」必要があることから従来の人格神論を超え、純粋な贈与として「いのち」というものの有難さのみを語ることにちなみ、キリスト教倫理の脱構築のひとすべを認める。また新約聖書については無差別の愛といふいのちの連関を指摘して、神の国、贖罪論、復活理解を論じ、新約聖書が

2012 年度事業計画

I. 事業計画基本方針

当財団は二つの大きな課題に直面している。その一つは、公益財団法人移行認定申請をめざして、公益性のある活動を一層活発に展開することであり、もう一つは、当財団の財政状況にかんがみて、財団運営体制について長期的かつ安定的展開策を実行しなければならないことである。2012 年度は、以下の基本方針を掲げ、財団事業を積極的に推進する。

1. 公益財団法人の認定

2008 年第 2 回理事会で、当財団が「公益財団法人」認定を目指すことが確認され、以後、財団内の「公益認定検討委員会」は、外部の専門機関による指導を受けつつ、認定申請準備作業を行っており、2012 年度中の認定を目指して最終段階の作業を推進する。

2. 財団活動の展開

2007 年度にまとめた「日本クリスチャン・アカデミーの理念」に基づき、キリスト教の社会に対する奉仕の一つの姿として、社会と人々の持つさまざまな価値の多様性を尊重しながら、正義、平和、いのちが尊ばれる社会の実現のための運動、活動を一層活発に展開する。

3. プログラム活動の推進

- 1) 東西活動センターは、現有のアカデミー固有の活動プログラムを継続、発展させる。
- 2) 東西活動センターは、アカデミーの理念に基づき今日的な社会の課題に対する認識を深め、それにふさわしい新規プログラムの開発に取り組む。
- 3) アカデミー固有の東西合同プログラムを継続的に実施する。

4. 運営推進体制の安定化

プログラム活動の運営推進に当たって、継続的な活動プログラムに関しては明確な方向性と予算計画を持ち、プログラム毎の収支の整合化を原則とする。新規プログラムについても、必要財源を開発し、活動の安定的展開を目指す。

5. 賛助会員、寄付金の拡充

プログラム、広報活動等を積極的に展開して、アカデミーの理念を周知し、アカデミー運動を支えようとする賛助会員、寄付金の拡充を図る。

6. 関西セミナーハウス事業の安定化

2012 年春には、長年の課題であった老朽化等に対応する第 1 期改修工事が完成する。この機に当財団の事業展開の拠点として、アカデミープログラムでのさらなる活用をはかる。また、リニューアルによる利用率の向上、収支の改善をはかるとともに東西活動センター、本部事務局での公益活動への貢献度を高める。

II. 関東活動センター活動方針

1. 日本クリスチャン・アカデミーの理念に常に立ち返りつつ、現代社会の問題に対し、自ら思索を深め、行動を促す内容のプログラムを行う。プログラムの回数は従来よりも減らし、密度の濃い内容を準備する。
2. 対外的には、広報のネットワークの強化をはかることにより、プログラムの周知・賛助会員（個人・団体）と寄付者の新規加入を求めて、関東活動センターの財政基盤を固める。

3. 総務・プログラム諸準備ともに、事務作業の縮小を図り、運営委員・スタッフとも、負担の少ない業務の流れを整える。

III. 関西セミナーハウス活動センター活動方針

日本の社会が直直し混迷の中にある問題について、それを広い視野から根源的に掘り下げ、問題を克服する道を探るため、修学院フォーラムを設ける。

1. 修学院フォーラム 1. 「エネルギーを考えるー原子力発電の根本的問題と我々の選択」

2011 年 3 月 11 日の福島原発の事故は、15 万人以上の人の生活の基盤を奪い、数知れない多くの人の命を今後長期に亘って脅かすことになった。この事故は、私たちに原子力発電に依存し続けてよいのかという問いを突きつけている。この問いを真剣に受け止め、何を選択すべきかを根源的に考え合いたい。

2. 修学院フォーラム 2. 「若者の未来に寄り添うー自傷、自死、カルトへの衝動のなかで」

いま希望は、若者の問題ではなく、この国と国際社会の問題として語られ、ときに絶望の時代という声さえ聞えてくる。コミュニケーションの技法までマニュアル化される時代に、なぜ、若い人びとは孤独を見つめ、自傷と自死、そしてカルト宗教への衝動を抱えてしまうのか。具体的な事例も含めて未来ある人びとの魂の声を聞き分けながら、若い人びとに希望を取り戻すための方途を探りたい。

3. 修学院フォーラム 3. 「高齢を生きるー認知症・胃ろう・尊厳死を見据えて」

高齢化社会が本格化する中で、高齢者が満足感をもって日々の生活を生き、尊厳をもって自らの生を締めくくるための制度や文化は、まだ十分に成熟しているとは言えない。本フォーラムでは、高齢者本人のみならず、家族に対しても大きな精神的・倫理的課題を突きつけることになる認知症と、それに伴う胃ろうの設置、尊厳死の問題を本格的にとりあげる。また、こうした終末期の課題をしっかりと受けとめるためにも、そこに至る長い老いの時期を、いかに積極的に生きることができるかを、それを実践している先端的な現場において考えていきたい。

この他、当活動センターが大切にしてきた以下のプログラムも、引き続いて開催する。

4. 「開発教育セミナー」

これまで人件・平和・環境に関する地球的課題について参加型の学びを続けてきたが、引き続いて日本と世界のつながりを、「持続可能な開発」をキーワードに考える。

5. 「神学生交流会」

関西地区神学生の日常的な交流を図る場としたい。

6. 「お茶のこころと宗教のこころ」

お茶室で静まりお茶を楽しみながら、お茶と宗教について考える時とする。

7. もみじまつり」

もみじの美しい季節に、セミナーハウスの施設を開放し、お茶やお琴、絵画、音楽を楽しむ会を関西セミナーハウスと共催で開催する。

8. 「神学生交流プログラム」

関東活動センターと共催で、各地の神学生を招き、学びと交流を図る会を、今年は関西セミナーハウスで

開催する。

この他、「IMF-JC 労働リーダーシップコース」と「修学院実践神学研究学会」「幼保セミナー」にも協力する。これらのプログラムを通して、正義と平和を重んじる社会の形成に貢献したい。それを通して、財団法人クリスチャン・アカデミーが多くの人に支持され、その活動に賛同して支援する人の輪が広がることを期待したい。

IV. 関西セミナーハウス 事業運営方針

東日本大震災の傷跡も残り、また国内外の経済の状況は厳しい状況が続いている。これは、研修宿泊施設である関西セミナーハウスの運営には逆風であるが、長年待望してきた第 1 期大規模改修が完成したので、新たな気持ちで職員はじめスタッフ一体となって、下記の主要な努力項目を掲げ、円滑かつ積極的な運営を行う。

1. 運営基本方針

1) 財団負担金の設置

本財団ならびにそのプログラム活動に貢献することを事業運営の基本とする。関西セミナーハウスの運営に若干なりとも収支バランスの整備が進んでいるので、今年度より支出項目に「財団負担金」を設け、具体的な対応を行う。

2) 第 1 期大規模改修のアップール

第 1 期大型改修完成を梃子として、従来からの利用者の継続性を高めるとともに集客チャンネルの構築、教育機関（学会、研究会、シンポジウムなど）などをターゲットとする新規顧客の獲得に努める。

3) お客様本位の取り組み

関西セミナーハウスの有する有形、無形の財産を

もって、お客様第一の態勢を築き、よりお客様満足の上に取り組み。

4) コア利用者への働きかけ

「アカデミー・プログラム」、「教会並びにキリスト教諸団体」、「シンパ企業」、「シンパ団体・個人」などコアとなる利用者のリピート率向上を目論み、宿泊者数の安定性を確保する。

5) WEB 関係の充実

ホームページの刷新によってアクセス数が大幅に伸びている。今年度はホームページやブログの更新回数をあげることで、メールマガジンの発信回数の増、外部のインターネット旅行宿泊サイトの活用、フェイスブックの活用などに取り組み、研修利用だけではなく、需要の高い個人利用者の獲得を目指す。研修 80：個人 20 の宿泊構成を目標とする。

6) 職場研修の充実

大規模改修の完成をよい機会として、職場研修の頻度を高め、職員スタッフのスキル向上に取り組む。

7) 新料金体系の採用と収支バランス

本年度は、大規模改修を行い、設備環境が一步前進するので、新料金体系（団体、個人別）を採用する。これに伴い、宿泊費、会議室使用料、食堂自前化、土産コーナーの新設など収入増を見込み、収益性を高め、第 2 期大規模改修の資金確保を計画化する。

2. 主な数値目標

- 1) 収入計画 (P&L ベース) : 1 億 770 万円
- 2) 営業収支計画 (P&L ベース) : 300 万円
- 3) 設備投資額 : 1,300 万円
- 4) 宿泊者目標 : 9,500 名
- 5) 年度期首要員 : 23 名
- 6) 職員スタッフ内訳 : 7 名 (内 1 名 休職中)、嘱託 6 名、パートタイマー 10 名

財団法人 日本クリスチャン・アカデミー 2012 年度収支予算

(単位: 円)

科 目	本部事務局	関東活動センター	関西セミナーハウス活動センター	関西セミナーハウス	内部消去	合 計
事業活動収支の部						
事業活動収入						
基本財産利息収入	3,000	0	0	0	0	3,000
会費収入	0	1,300,000	600,000	0	0	1,900,000
事業収入	10,558,872	500,000	3,412,000	106,694,000	0	121,164,872
寄付金収入	0	380,000	2,200,000	1,000,000	0	3,580,000
有価証券利息収入	591,000	0	0	0	0	591,000
雑収入	0	0	50,000	400,000	0	450,000
繰入金収入	3,708,000	0	0	0	3,708,000	0
事業活動収入計	14,860,872	2,180,000	6,262,000	108,094,000	3,708,000	127,688,872
事業活動支出						
事業費支出	8,249,732	1,380,000	5,462,000	96,403,835	0	111,495,567
管理費支出	11,369,140					11,369,140
繰入金支出	0	800,000	800,000	2,108,000	3,708,000	
事業活動支出計	19,618,872	2,180,000	6,262,000	98,511,835	3,708,000	122,864,707
事業活動収支差額	△ 4,758,000	0	0	9,582,165	0	4,824,165
投資活動収支の部						
投資活動収入						
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	6,792,835		6,792,835
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	12,000,000		12,000,000
投資活動収入計	0	0	0	18,792,835	0	18,792,835
投資活動支出						
特定資産取得支出						
退職給付引当資産支出	242,000	0	0	△ 5,625,385		△ 5,383,385
減価償却引当資産支出	0	0	0	12,000,000		12,000,000
固定資産取得支出				13,100,000		13,100,000
投資活動支出計	242,000	0	0	19,474,615	0	19,716,615
投資活動収支差額	△ 242,000	0	0	△ 681,780	0	△ 923,780
当期収支差額	△ 5,000,000	0	0	8,900,385	0	3,900,385

2012 年度 関東活動センタープログラム予定

シリーズ名	回数	予 定	プログラム題	講 師	形 態
第 3 回聖書講座	第 1 回	6 月	聖書学者による聖書講 解・ディスカッション	上村 静	共催
	第 2 回	7 月			
	第 3 回	9 月			
	第 4 回	10 月			
	第 5 回	12 月			
宗教対話プログラム	第 1 回	10 月	宗教間・教派間の出会い と相互理解を促進する	未定	主催
今日の課題プログラム	第 1 回	5 月	今日の社会問題・アジア に関わる問題を取り上げ る	未定	主催
ターグング	1 回	11 月	事前設定したテーマのも と、集まった人々が泊 二日対話を深める	未定	主催
アカデミー新年の集い	1 回	1 月	アカデミーの活動理解・ 会員間の親睦を深めるた めの講演会	未定	主催

2012 年度 関西セミナーハウス活動センタープログラム予定

シリーズ名	回数	開催予定日	プログラム題	講 師	主催/共催
修学院フォーラム「エ ネルギーを考えるー 原子力発電の根本的 問題と我々の選択」	第 1 回	2012/10/7 ～ 8	「科学・技術の視点から」「キ リスト教倫理の視点から」	北澤宏一（科学技術振興 機構顧問・前理事長、福 島原発事故独立検証委員 会委員長）、栗林輝夫（関 西学院大学法学部教授）	主催
修学院フォーラム「若 者の未来に寄り添う ー自傷、自死、カル トへの衝動のなかで」	第 1 回	2012/6/16	思春期までのこどもと向き 合って学んだこと	藤藪庸一（白浜バプテス トキリスト教会牧師）	主催
	第 2 回	2012/7/21	絆とは何かーホームレス支援 から見た無縁日本	奥田知志（日本バプテス ト連盟東八幡キリスト教 会牧師）	主催
修学院フォーラム「高 齢を生きるー認知症・ 胃ろう・尊厳死を見 据えて」	第 1 回	2012/5/12	高齢者の終末期医療とケアを 考える	葛原茂樹（鈴鹿医療科学 大学保健衛生学部教授、 前日本神経学会会長）	主催
	第 2 回	2012/10/27	高齢者福祉を繕う新たな働 きー NPO ちいろばの働きを 考える	君村 淳（NPO ちいろば 「晴れる屋」責任者）君 村千代子（NPO ちいろば 「スーカサ」責任者）	主催
	第 3 回	2012/12/15	「高齢を生きるー認知症・ 医療的介入（胃ろうなど）・ 尊厳死を見据えて」	根岸宏邦（豊中愛和会理 事長）	主催
	第 4 回	2013/1/19	「尊厳死」思想の形成と変容 ー尊厳死と安楽死（仮）	大谷いづみ（立命館大学 産業社会学部教授）	主催

シリーズ名	回数	開催予定日	プログラム題	講 師	主催/共催
開発教育セミナー	第 1 回	2012/6/3	開発教育入門セミナー	開発運営委員	協力
	第 2 回	2012/7/28 ～ 29	先住民のくらしと私たち～ オーストラリア・ウラン採掘 の現場から	細川弘明（アジア太平洋 資料センター（PARC）共 同代表、京都精華大学教 員）	主催
	第 3 回	2012/9/15 ～ 16	脱原発のための福井スタ ディーツアー	山崎隆敏（「若狭ネット」 福井連絡先・「サヨナラ原 発福井ネットワーク」代 表）	主催
	第 4 回	2012/10/13 ～ 14	脱成長の社会をデザインする ～「豊かさのものさし」を見 直す	中野佳裕（国際基督教大 学社会科学研究所）	主催
	第 5 回	2012/11/10 ～ 11	「多みんぞくニホン」を生 きる～在日コリアンとベト ナム難民	山中信幸、織田雪江、丸 山まり子（開発教育研 究会）	主催
	第 6 回	2012/12/8 ～ 9	日本に基地はもういらな い！～沖縄を太平洋の要石 から平和を展望する拠点へ	豊下橋彦（関西学院大学 法学部教授）	主催
神学生交流会	第 1 回	2012/5/19	イスラームとの対話から	小原克博（同志社大学神 学部教授）	主催
	第 2 回	2012/10/6	病む人々とイエス（仮）	榎本てる子（関西学院大 学神学部准教授）	主催
お茶のこころと宗教 のこころ	第 1 回	2012/4/9	関西セミナーハウスの茶室清 心庵	市川克彦（裏千家正教授、 紫苑国際文化院院長）	主催
	第 2 回	2012/11/5	カトリックから見た茶道（仮）	交集中	主催
もみじまつり		2012/11/23	セミナーハウスを開放し、紅 葉、お茶、音楽、美術を楽し むプログラム	-	主催*
神学生交流プログラ ム	第 4 回	2013/3/25 ～ 27	礼拝、基調講演、交流、京都 市内キリシタン遺跡フィール ド・トリップ	校長神田健次・講師杉野 榮（交集中）	主催**
修学院実践神学研究 会	第 1 回	2012/4/17	教派を越えて教職者が学び、 黙想し、祈り合う趣旨の会	榎本栄次、春名康範	協力
	第 2 回	2012/6/12	同上	同上	協力
	第 3 回	2012/9/11	同上	同上	協力
	第 4 回	2012/11/13	同上	同上	協力
	第 5 回	2013/2/18 ～ 19	同上	同上	協力
第 30 回幼保セミナー		2012 年 11 月予定	保育園と幼稚園における様々 な問題の克服を考え合う		協力
第 44 回 IMF-JC 労働 リーダーシップコー ス		2013/1 月 予定	基幹産業の労働組合役員を対 象にした研修		協力

* 関西セミナーハウスと同活動センターの共同主催

* テーマ・日程は、変更の可能性がある。

* 関東と関西の活動センターの共同主催